

第105回
夏の
甲子園

悲願の頂へ 心一つ



光星ナイン、全員主役貫く

初戦は明桜（秋田）

大会第7日第1試合

青森県代表として、八光星が2年連続で熊本の舞台を飾る。昨秋の県大会は初戦で敗退し、チームはほろぼろになっていたと中澤恒雄監督は当時を振り返る。

「この方法を監督は夏は絶対に優勝してやる。その思いだけで、ナインは秋以降、黙々とバットを振り、塁球を磨き、グラウンドを駆け回ってきた。」

そして迎えた本番の夏。心一つに、青森大会は「全員主役」で戦った。試合を重ねるごとに成長も目覚め、県内大会の頂点まで上り詰めた。

だが、このゴールではない。新たなスタートラインに立った光星ナインは、今度敗れたチームの壁打ちの思いも背負い、全面の激戦に挑む。いざ、全員主役を貫き、悲願の日本一へ。

◇ 第105回全国高校野球選手権大会は8日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開催。全国の地方大会を勝ち抜いた各校が頂点を争う。◇ 八光星の初戦は大会第7日第1試合（12日午前8時開場予定）で、ノースアジア大明桜（秋田県代表）と対戦する。（千葉隆世）

12 13 ナイン紹介

14 戦力分析